

文京区職員(右)の前で、抗議文を読み上げる岡野代表(文京区の旧教育センター前で)

文京の中学統合

解体工事 1日延期

新校舎予定地の施設 住民抗議受け

文京区立第五中と第七中の統合計画を巡る問題で、区は11日、統合校の新校舎予定地(大塚1)に立つ旧区教育センターの解体工事に入る予定だったが、計画に反対する住民の抗議を受け、着工を1日延期した。



施設前には早朝から、反対派住民でつくる「新大塚公園を守る会」(岡野薫代表(71)のメンバー約20人が集まり、「区民の声を聞け」などと書かれた横断幕を掲げた。区職員が現れると、工事の中止と説明会の開催を要求し、岡野代表が成沢広修区長あての抗議文を読み上げて職員に手渡した。

区側は当初、「議会の承認も得ており、法的に問題はない」として作業を行う構えを見せたが、住民側と協議の結果、この日の着工は見送った。

新校舎は2009年9月に開校する計画で、区は解体作業を9月下旬までに行う予定。区は11日夕、読売

新聞の取材に対し、「工期をこれ以上先延ばしはできない」とし、12日に改めて着工する方針を示した。統合計画は2005年11月、区が、少子化による学校再編を進めるとして、旧

教育センターと新大塚公園の敷地に統合校を新設する案を発表した。しかし、住民側は「都心部で貴重な憩いの空間が失われる」と再考を要求。これを受けて、区は昨年11月、統合校の校舎は教育センター跡地のみ建て、公園はそのまま残り統合校のグラウンドと共用する計画に変えた。ただ、住民側はこの案についても「公園の機能を縮小することに変わりはない」と批判している。